

第6節 町指定文化財

南富良野町指定無形文化財「幾寅獅子舞」

郷土民芸の幾寅獅子舞は、明治36年2月に、恵光寺住職の寺本恵観を中心とする恵光寺女人講の同士によって発起結成されている。

南富良野町で唯一の文化財指定を受けている「幾寅獅子舞」は、昭和40年3月28日に南富良野村文化財保護条例が制定された同年10月21日に南富良野町無形文化財に指定されている。保存伝承の歴史は、前刊『南富良野町史』の第10篇第3章第6節に詳細が掲載されているので、ここでは平成年代の幾寅獅子舞の活動状況について掲載しておく。

昭和58年11月3日には、幾寅獅子舞発起80周年記念式典が挙行され、記念品として日本手拭いが配られている。手拭いは発起88年と発起90年にも作られ配布された。

平成14年10月30日に、幾寅獅子舞の保存、伝承に貢献した幾寅獅子舞保存会会長の森井義雄（96歳）が、北海道文化財保護協会から北海道文化財保護功労者表彰を受けている。

平成15年9月17日に、幾寅獅子舞発起100周年を向かえ、保存会（森井義雄会長）が記念の「うちわ」を製作し、南富良野神社祭で演舞した際に一般町民に配布した。

現在の保存会は若い指導者に世代交代し、獅子若連中の育成や南富良野神社祭等に演舞し、平成18年度の収支を見ると町補助金12万円、神社祭御祝儀・利子25万円などの収入で文化財の継承保存に努めていることが伺える。

幾寅獅子舞保存会の平成16年度総会議案に、次のような役割を記した名簿がある。

役 職	氏 名	適 用
保存会会長	森井 義雄	
副会長	植村 通彦	
副会長（会長代行）	高橋 勉	
世話役	伊賀 伸彦	
理 事（会計）	得能 里明	
監 事	山本 豊・高橋 秀伸	
事務局	高橋 秀己	
若連中	下家 茂樹	指導部（頭）
//	須甲 賢一	指導部（頭、太鼓）
//	太田 昭二	指導部（頭、笛）
//	上坂 直樹・西山 拓司・伴井 浩二	実行部（頭）
//	加藤 友和・梅林 豊	実行部
//	伊賀 翼・高橋 太一・村岡 裕弥・山田 侑平・高橋 竜己	獅子とり
からまつ園	谷口 正文・工藤 正美・菊地 誠	獅子
ござくら園	水上 知男・阿部 将人・横田 慎二	獅子



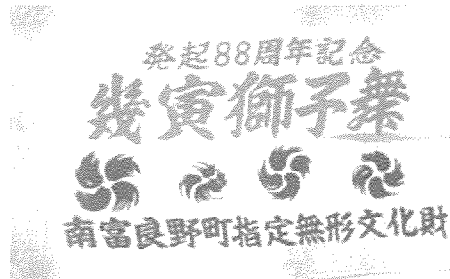
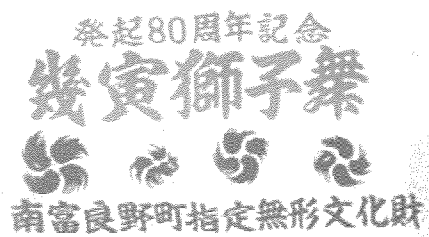
獅子舞保存で北海道文化財功労者表彰を受けた森井さん

平成19年度役員名簿

役 職	氏 名
会 長	高橋 勉
副会長	植村 通彦
事務局	高橋 秀己
世話係	伊賀 伸彦
会 計	得能 里明
監 事	高橋 秀伸
監 事	太田 昭二



—幾寅獅子舞—



記念の日本手ぬぐい

